

2006年7月21日

(報道発表資料)

日本電信電話株式会社
東日本電信電話株式会社
西日本電信電話株式会社

次世代ネットワークのフィールドトライアルの インタフェース条件開示および参加受付の開始について

NTTグループでは、次世代ネットワークの本格的な商用サービスの開始に向けた技術確認とお客様要望の把握を行うため、フィールドトライアルを本年12月を目途に開始する予定ですが、それに先立ちフィールドトライアルにおけるインタフェース条件を公表します。

また、これに合わせてフィールドトライアルへの参加条件についても公表し、情報家電ベンダ、サービスプロバイダや他キャリア等の皆様からの参加受付を開始します。

1. インタフェース条件開示等の目的

フィールドトライアルにおいては、ネットワーク間、ユーザ端末とネットワーク間、アプリケーションサーバとネットワーク間のインタフェースを情報家電ベンダ、サービスプロバイダや他キャリア等の皆様に広く開示して、コネクティビティの確保を推進し、アプリケーションサービスのご提案を頂きます。

2. フィールドトライアルの提供機能

フィールドトライアルでは、インタラクティブ（双方向）通信機能、ユニキャスト（片方向、一対一）通信機能、マルチキャスト（片方向、一対多）通信機能、ISP接続機能及びイーサ通信機能を提供します。その際、IP通信については、従来のベストエフォートに加えて、エンド・トゥ・エンドの品質制御を行います。

機能	用途	品質(QoS)注	使用帯域(コーデック)
インタラクティブ (双方向)通信機能	0AB~J IP電話	クラスA(最優先)	・高品質:7kHz(G.722等) ・標準:3.4kHz(G.711等)
	0AB~J TV電話	クラスA(最優先)	・標準TVクラス:2Mbps程度(MPEG4) ・ハイビジョンクラス:30Mbps程度(MPEG2)
ユニキャスト(片方向、 一対一)通信機能	コンテンツ配信	クラスB(高優先)	・標準TVクラス:6Mbps程度(H.264, MPEG2) ・ハイビジョンクラス:10Mbps程度(H.264)
マルチキャスト(片方向、 一対多)通信機能		ベストエフォート	
ISP接続機能	インターネット アクセス	ベストエフォート	
イーサ通信機能	広域イーサ	優先制御機能付	・10Mbps, 100Mbps, 1Gbps, 10Gbps

【注:品質制御のパターン】

サービス品質		クラスA (最優先)	クラスB (高優先)	クラスC (優先)	ベスト エフォート
QoS規定 及び サービス 条件	遅延及び遅延ゆらぎ*	数十ミリ秒	< 数百ミリ秒	< 数秒	規定なし
	パケットロス*		規定あり		規定なし
	受付制御 (エッジノードによる流量制限等)		あり		なし

(※)具体的には、「フィールドトライアル版 次世代ネットワークインタフェース資料」で規定します。

3. フィールドトライアルのインタフェース条件

フィールドトライアルのインタフェース条件は、N N I (網間インタフェース)、U N I (ユーザ-網インタフェース)、S N I (アプリケーションサーバ-網インタフェース)のそれぞれについて、「フィールドトライアル版 次世代ネットワークインタフェース資料」([NTT東日本](#)、[NTT西日本](#)、[NTT](#)のホームページ上に掲載)を開示します。

各インタフェースで使用するプロトコルは、I T U - T (国際電気通信連合)、I E T F等の国際標準やT T C (情報通信技術委員会)の国内標準に準拠します。

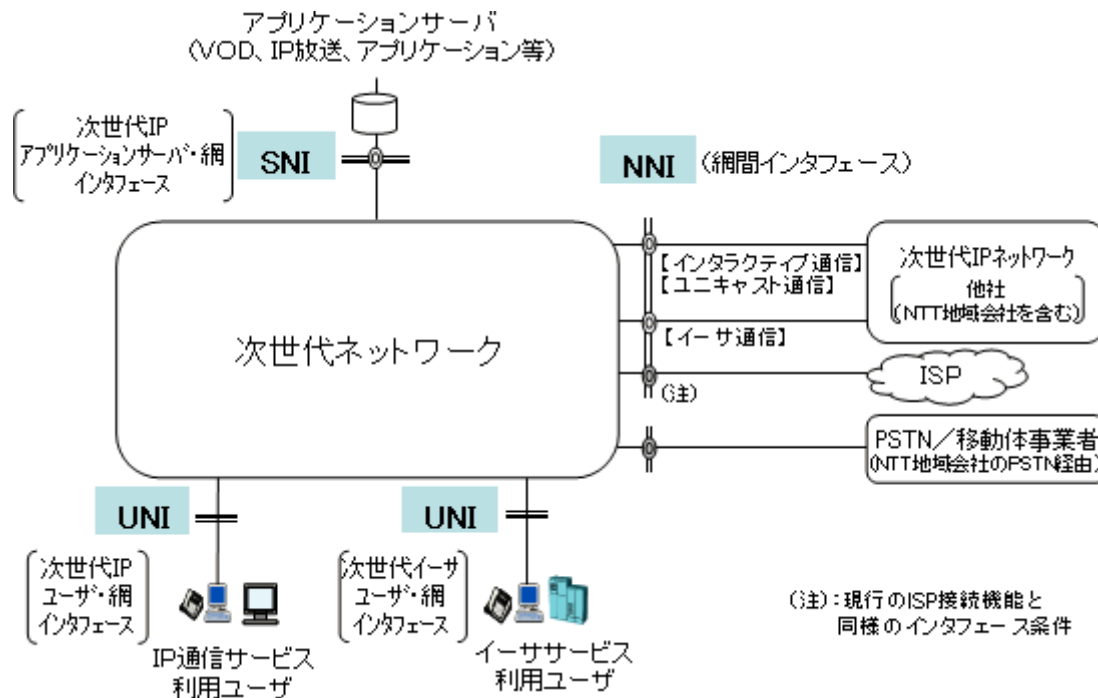
(例)

- 物理レイヤ等下位レイヤは、従来の100Mbps及び1Gbpsに加えて10Gbpsのインタフェースを採用。(IEEE仕様に準拠したイーサネット仕様、SONET等を採用)
- 幅広いサービス・端末に総合的に対応できるよう、IETFによるRFCに準拠したIPv4及びIPv6プロトコルやTCP、UDPプロトコルを使用。
- 呼制御プロトコルは、TTCによるテクニカルレポート等に基づくSIP (Session Initiation Protocol)を採用。
- データ転送プロトコルは、TTC標準のRTP等を採用。
- 広域イーササービスにおいては、導通状態の常時監視 (ITU勧告準拠のOAM

機能)をサポート。

各インタフェースで交換する情報は、発着ユーザ電話番号、メディア種別 (audio (音声)、video (映像) 等)、コーデック種別 (H.264、MPEG2 等)、帯域情報、方向性 (双方向、片方向) 等です。

<開示するインタフェース>



4. フィールドトライアルのNNI、SNI、UNIの提供場所

インタフェース毎の各機能の提供場所は以下のとおりです。

<1>NNI

機能	NNIの提供場所
インタラクティブ通信機能	(東日本エリア)・白鬚ビル(東京都台東区)・前橋下沖ビル(群馬県前橋市)
ユニキャスト通信機能	(西日本エリア)・大阪ビル(大阪府大阪市)・東海栄本ビル(愛知県名古屋市)
ISP接続機能	トライアル実施エリア内の現行フレッツサービスのPOI(相互接続点)ビル。 NTT東日本/NTT西日本は個別に接続が必要。
イーサ通信機能	(東日本エリア)・白鬚ビル (西日本エリア)・大阪ビル

(注) 1. PSTN等とのIGS (相互接続閉門交換機) 経由接続については、新たな接続は必要ありません。

2. トライアルにおいてはトランジットによる接続は提供しませんので、NTT東日本、NTT

西日本への通信は、NTT東日本、NTT西日本との接続点で直接接続していただきます。

3. ネットワークの信頼性確保の実証実験を行うため、NTT東日本は前橋下沖ビル（群馬）、NTT西日本は東海栄本ビル（愛知）にPOIを併設します。

<2>SNI、UNI

機能	SNIの提供場所 〔コンテンツ事業者等アプリケーションサービスプロバイダ様に適用〕	UNIの提供場所 (下記の収容局でモニタ様等を収容してサービス提供)
インタラクティブ通信機能	(東日本エリア) ・新宿ビル (西日本エリア) ・大阪ビル	(東日本エリア) ・大手町FSビル ・TTC有明ビル ・新宿ビル ・新淀橋ビル ・弦巻ビル ・品川ビル ・白金ビル ・戸塚ビル ・横須賀別館ビル ・幕張ビル ・浦和常盤ビル
ユニキャスト通信機能		
マルチキャスト ^(注) 通信機能		(西日本エリア) ・大阪東ビル ・大阪北ビル
ISP接続機能	—	〔 上記のビルでトライアルを実施する予定ですが、モニタ様等との対応状況によっては未実施ビルとする場合があります。 〕
イーサ通信機能	—	

(注) マルチキャスト通信については、映像配信事業者はNTT東日本エリアまたはNTT西日本エリアの接続ビルに個別に接続していただきます。なお、映像配信事業者の要望があれば、NTT東日本・NTT西日本の接続ビル間を映像配信事業者の費用負担で広域イーサにより接続する等の方法を用意します。

5. フィールドトライアルへの参加受付

情報家電ベンダ、サービスプロバイダや他キャリア等の皆様の参加を広く公募いたします。

本日より2006年12月28日まで、フィールドトライアルへの参加を受け付けますので、参加をご希望の事業者様は、参加要項（[NTT東日本](#)、[NTT西日本](#)、[NTT](#)のホームページ上に掲載。概要は別紙参照。）をご覧の上、下記申込窓口までお申し込み下さい。

(申込窓口)

<NNIでの接続をご希望の事業者様>

- ・東日本エリアでの接続：東日本電信電話株式会社 相互接続推進部
TEL：03-5359-4451
e-mail：ngnsougo-ip@sinoa.east.ntt.co.jp
- ・西日本エリアでの接続：西日本電信電話株式会社 相互接続推進部
TEL：06-4793-7241
e-mail：ngnsougo-west@ml.hq.west.ntt.co.jp

<SNI、UNIでの接続をご希望の事業者様>

- ・日本電信電話株式会社 フィールドトライアル参加事前相談・申込み窓口

TEL : 03-5205-5719

e-mail : ft-entry@ml.hco.ntt.co.jp

(トライアル参加事前申込書等の記入に関する
ご相談)

e-mail : ft-contact@ml.hco.ntt.co.jp

(上記以外のお問い合わせ)

- [<別紙> フィールドトライアルへの参加要項 \(概要\)](#)
- [【用語解説】](#)

<本件についての問合せ先>

日本電信電話株式会社

第二部門次世代ネットワーク推進室

TEL : 03-5205-5233

NTT ニュースリリース 